

## 1. インドにおける出張の概要

日印両国間で推進しているムンバイ・アーメダバード間高速鉄道の建設予定地（ムンバイ高速鉄道駅予定地、タネクリーク、アーメダバード駅、バドーダラ高速鉄道研修所建設現場等）を訪問し、事業の進捗状況を確認しました。

また、在来線の安全性向上に向け技術協力を行っているインド国鉄のムンバイ・チャトラパティ・シヴァージー・ターミナス駅を訪問し、中部・西部鉄道管理局グプタ局長と面談しました。



バドーダラ高速鉄道研修所建設現場にて



海底トンネル予定地のタネクリークを視察



グプタ局長と面談する阿達政務官

## 2. ミャンマーにおける出張の概要

### (1) タン・スィン・マウン運輸・通信大臣との会談

ミャンマーでの鉄道、港湾、空港等の交通分野における協力案件の現状を確認し、今後の協力関係をさらに強化することで一致しました。タン大臣からは、今後も緊密な意見交換を続け、各プロジェクトが両国協力の象徴となるよう期待が述べられました。



タン・スィン・マウン運輸・通信大臣  
と会談する阿達政務官



阿達政務官とタン・スィン・マウン  
運輸・通信大臣

### (2) 旅客船引渡式典

日本で建造され供与された旅客船キスパナディ3は、本年3月からラカイン州において就航しており、ミャンマー国民の生活を支える重要な交通として利用されています。この旅客船の引渡式典が、タン・スィン・マウン運輸・通信大臣、ニー・プー ラカイン州首相、丸山駐ミャンマー日本国大使、唐澤 JICA 事務所長など、多くの列席者を得て、盛大に開催されました。阿達政務官は式典の挨拶において、本旅客船の末永い活躍とミャンマーの発展について期待を述べました。



引渡されたキスパナディ3の模型



旅客船引渡式典の出席者一同